



地酒のとりこ、蔵人に



飛騨市古川町の渡辺酒造店で蔵人を務め、今年で11年目になるタリル・コディさん(44)。「自分が造った日本酒を母国ア

メリカに広めたい。トランプ大統領にもぜひ飲んでほしい」と大きな夢を語る。米国ユタ州出身。妻は日本人で、33歳の時、家族とともに飛騨に移住した。日本の伝統に関心があり、飛騨の地酒のおいしさに魅せられて酒造りの仕事を選んだという。6年前から海外輸出用の日本酒の商品化に取り組み、営業活動も熱心に行っている。「アメリカ人はフルーティーな味わいを好む。ラベルにも工夫を凝らしたい」と意気込む。

ひだ みの人ひと ◆ 輝いています ◆